

えひめの暮らし

— 生計費モニター通信 —

NO.124

2006年6月1日発行

6月6日にコープえひめの家計グループ「あすなる」主催のマネー講座「景気は上向きというけれど！我が家の暮らしは？」講師：正岡 啓先生 が開催されました。以下、講座の内容を紹介します。

経済は、自由 (Free)、公平 (公正) (Fair)、透明 (Clean) でなければならないが、日本では自由のみ強調されており、公平 (公正) などは未成熟で分かりにくい。村上ファンドのインサイダー取引は明らかに違法なのだが、たとえば田中角栄が道路建設予定地を事前に親族企業に買収させたなどといったことも実力者にとってはあたりまえ、といった感覚が日本にはある。日本では市場原理がようやく根付き始めたところで、村上ファンドの件をもって、規制を強めよ、との声もあるが私は反対だ。

大きな流れの景気は間違いなく回復している。日銀の短観などのアンケート調査と百貨店の売り上げなど経済活動の結果の統計を踏まえて内閣府で判定しているが、史上最長のいざなぎ景気を超えようかという長さになっている。労働環境の改善や消費が堅調に推移していることなど目に見える景況感もある。反面、デフレの影響で名目成長率がマイナスのときもあり、業種、企業間や地域間格差があること、家計への所得増の循環が遅れていることなどから景気回復の実感を伴わない面もある。

所得格差については、ベースになるデータを共通にして議論するべきで、ある意図を持ち都合のいいデータを用いて結論付けてはいけない。また国会答弁で使われているジニ係数はもともと分布の集中度、不均等度を表す係数で、格差分析の絶対的なツールではない。家計調査や再分配所得を中心に生活実感に近いところで見ると、国民意識とは逆に賃金のフラット化や社会保障による低所得層の所得低下抑制機能が働き所得格差はむしろ縮小傾向にある。ただ、20～30代の世代間で格差は確かに拡大しており、機会均等が重要になっている。

資産の運用は分散投資が原則。ライブドアに6億円も投資したというのは論外。資産を有価証券で運用するには年配者では10%、若い人でも40%をめどにして、後は元本保証の商品を基本にする。また、損をしたときに基準を決めておきそれを超えると売るという決断ができない人は株式投資には向かない。

4 がつ の データ (2006年4月分)

世帯の状況

		2005年 4月	2006年 3月	2006年 4月
調査対象数(世帯)		199	252	232
世帯主年齢(歳)		42.9	42.7	43.5
平均家族数(人)		3.8	3.9	3.9
世帯主 職種	公務員	14.1	11.9	11.8
	会社員	73.9	72.2	71.2
	自営業等	5.5	8.3	8.5
	無職	6.5	6.7	7.5
世帯主 年齢	20~29歳	2.5	2.8	1.9
	30~39歳	42.2	42.5	42.0
	40~49歳	34.7	33.7	33.5
	50~59歳	14.1	14.7	15.6
	60歳以上	6.5	5.6	6.1

実収入

合計	481,072	447,721	478,620
給料(夫)	330,713	339,202	328,603
(妻)	28,143	32,192	27,993
賞与(夫)	1,633	3,919	3,473
(妻)	0	259	0
公的年金(夫)	23,755	900	19,829
(妻)	10,698	344	8,793
自家営業	19,916	10,684	20,748
家賃・地代収入	5,073	6,575	5,899
パート・アルバイト収入(夫)	1,075	2,221	1,729
(妻)	22,990	17,167	20,411
同居家族からの収入	3,860	2,844	4,213
私的年金(夫)	2,327	616	1,731
(妻)	910	368	779
その他の収入	29,980	30,429	34,418

実支出

	2005年 4月	2006年 3月	2006年 4月
合計	482,184	491,877	518,088
消費支出	342,920	369,549	379,771
食費	55,491	56,239	56,730
住居費(家賃・ローン)	38,701	43,023	39,103
住居費(その他)	14,550	17,892	22,572
水・光熱費	17,812	20,321	18,452
被服費	15,498	17,434	16,383
保健医療費	11,123	10,910	9,644
理容衛生費	7,524	7,748	8,668
交際費	15,601	16,613	18,154
交通費	5,714	4,800	4,639
通信費	13,094	16,670	14,006
教育費	65,723	63,087	97,114
教養娯楽費	17,012	16,397	18,020
職業・主婦費	33,365	30,023	30,532
自動車関係費	23,717	41,376	21,116
その他	7,993	7,016	4,638
非消費支出	139,264	122,327	122,708
税金	41,321	21,991	40,294
社会保険料	43,744	45,044	43,840
私的保険料	47,111	46,998	46,348
その他非消費支出	7,087	8,295	7,835

別掲

積立・定期預貯金	44,075	35,750	30,433
----------	--------	--------	--------

再掲

住宅ローン返済額	28,342	29,406	25,956
住宅以外借入金返済	7,762	4,049	6,624

特別収入

香典代(1件)	1,128,000
---------	-----------

特別支出

葬儀代(1件)	668,000
車の購入(1件)	1,630,000
娘の結婚資金(1件)	900,000

4 月のおたよりから

★長男が東京の私大に進学しました。受験から一人暮らしするまでの費用が300万円くらいかかりました。覚悟はしていたもののこれからが大変です。国立大を辞退して私大に行きたいと言ったとき、主人と「本人が希望するところに」と賛成したことに今更ながら少し後悔しています。(44才)

★双子が幼稚園に入り、今までとんとんだったのが一気に大赤字になりました。他に、趣味のものの年会費などの出費もあったためですが、これはなんとかしないと、とあせってきました。これから15年(それ以上は自分でなんとかしてもらいたい)学校と縁があるのだから、削れることは削り、ガマンもしないといけないのでしょうか、せっかくできた自分の時間を外の世界に向けて使いたい(お金もかかるけど…)と考える今日この頃です。(34才)

★今年からつけ始めた家計簿、食費をなかなか節約することができないのが今の悩み。子どもがまだ小さいが、これから食べ盛りになることを考えると、今から節約レシピを身につけておかなければと思う。(29才)

★4月から主人が単身赴任することになり、月～金は松山で、土日は家族と過ごすために戻ってきます。土日だけしか家族が揃わないので、つついぜいたくをしてしまいました。単身の主人は出来合いのものと外食で食事をすませているので以前よりも食費が倍になりました。給料ダウンと2重の

生活は家計にひびいています。(才)

★今月は息子が入院し、予想外の出費が多々ありました。少しでも予想外の出費があるとすぐに赤字になってしまうわが家としては、健康も節約の1つだなと思い知らされました。(28才)

★家を建てて1年目で何かとお金がいって年間の支払いが分かっている分は前取り貯金をしているけど浄化槽の汲み取りと点検にだいぶお金がかかるのを知らずにいたら涙が出るほどいってビックリしました。今月から浄化槽用にも積立開始です。(30才)

★今年もやってきました。恐怖の「固定資産税」 わかってはいるのですが、納税通知書が届くと気が重くなります。おまけに次女の中学校入学などで、今月は支出がすごい事に!! まあ、いる時はいる。節約できるところをがんばればいいや。何よりうれしいのは子どもの成長なのだし。と、今月もひらきなおりの私です。(才)

★春は何かと出費が多いです。自動車税、固定資産税、PTA会費、自治会費など。娘の修学旅行費用は子ども貯金から引き落とし使います。やはり、日頃のわずかな貯金でも、いざというとき助かります。これからも、少しずつでも貯金していこうと思います。(43才)

★今月は前月の数字と比べながら頑張ってみました。子どもが中学生になると同時に買い物も多く、出費も重なりますが、抑えられるところは抑えてみました。少しでも先月よりは出費は減りましたが、自営業のため、収入に変動がおこるのが悩みの種です。(36才)

★とりあえず一ヶ月、一ヶ月つけるだけで精一杯…。夏からは給料が減るらしく、それまでに家計を見直して、と思っているけれど、なんとか赤字になっていないというだけで、今月からはローンが5000円上がったし、何か大きな出費があると我が家はピンチ…。男の人もう少し、家計に興味をもってくれると気持ち的にも、お金の面でも何か変わってくるように思うのは、私だけでしょうか？(39才)

★子どもが生まれて外出の機会が増えました。大型ショッピングセンターに行くよりも近くにある公園へ、お弁当を持って散歩に行くと気持ちいいですよ。経済的だし、健康にも良いし、おすすめします。(31才)

★2月号のおたよりで、「子ども3人分の教育費はいくら？」と書かれていた方がいましたが、上を見てもキリがない！と思うので最低限+αくらいの考えで私はしています。(私も小5、小1、3才の母です。)

——1人につき、18才(高卒時)満期の保険で200万と現金200万で、計400万×3人の予定で頑張っています。足りなければ

子どもに奨学金を借りさせます。——

ある調査によると東大合格者の4割強が親の年収1000万超だそうです。どんなに頭の良い子でも親の収入も良くないと一流大学は無理ってことなのか？なんて皮肉りたくなります。(34才)

★主人が禁煙を宣言した。身体にも家計にもいい事だと喜ぶのもつかの間。携帯電話代がいつもの5倍に！禁煙に伴い食費(口さみしい為チョコなど菓子類)が↑アップ。カゼで休んだ分、給料はいつもより↓ダウン。しかも、禁煙がいつの間にか減煙に…日に日に本数も増えている感じ。がっかり。なかなかうまいこといかないものですね。(31才)

★下の子が1年生になりました。習い事なども少しずつ増やしたりしていますが、保育料分を考えるとまだまだ増やせそうです。長い間通園させたので計算するとゾッとするほどの金額ですね。お祝いに旅行に行ったり、内祝い他、物入りでしたが久しぶりの家族旅行で楽しかったです。車で行ったので5月には高速道の料金ががっぽり待っているのですが、ETCにしてみても、割引も多く、遠出するには便利だなと思いました。(37才)

編集 愛媛県生計費調査委員会

発行 えひめ勤労者生活情報センター

〒790-0066 松山市宮田町132番地

TEL 089-933-2871

愛媛県生活協同組合連合会

〒790-0952 松山市朝生田町3-1-12

TEL 089-931-5207